

行政視察報告書

令和6年 11月 12日

長浜市議会議長 高山亨様

長浜市議会議員 岩川信子

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 観察等名 令和6年度議会活性化検討委員会・議会運営委員会合同行政視察研修
2. 観察期間 令和6年10月30日(水)
3. 観察場所及び目的
①岐阜県可児市議会
「議会改革・議会活性化について」

4. 調査内容感想等

・観察の目的

可児市は、議会改革や市民との関わりの強化を通じて、議会活動の活性化を図ることに積極的な自治体としても知られています。市民との対話を重視し、市議会の運営方法や議員の活動内容に透明性をもたらせる取組みは、今後の長浜市の施策を考える上で重要な参考になり、本観察は、可児市の具体的な議会改革の取組みについて、理解を深めることを目的としました。

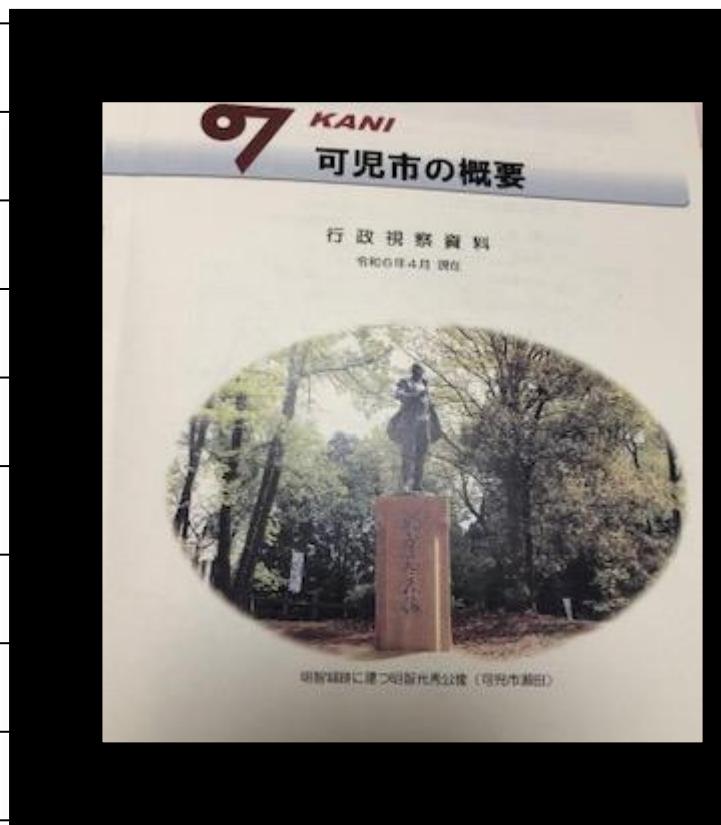
・観察の内容

可児市における議会改革の取組みとして、市民参加型の議会運営を行っている。定期的に市民対話が開催され、住民からの意見や要望が直接議会に反映される仕組みが整備されていました。「地域課題懇談会」として、高校生議会に加えてママさん議会など

開催されている。このような対話の場を設けることで、議会と市民との距離を縮め、行政への理解を深める効果が期待されています。また、パブリックコメントの積極活用・条例案の決定の際では、オンラインを含めたパブリックコメント制度が活用されており、市民の意見を反映する姿勢が見受けられました。

そして可児市では、主要な政策について市議会議員が討論を行う政策討論会を実施するなど、この場で予算に関する考え方や優先事項について議論され、市民もこれを通じて市の方向性を理解しやすくなっている。

さらに議会のオンライン配信ケーブルテレビやFMラジオ議会広報番組等でも広報活動をしている。・Facebookやインスタグラムを使って若い世代に情報発信しているなど、幅広く活用することで、市民と議会との距離を縮めている。



- ・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

本視察は、長浜市の今後の議会活性化施策の参考となる重要な情報を得ることができました。市民との対話会などを通じて市民の声を反映する可児市の姿勢は、市議会が市民に近い存在であることを強く印象づけています。長浜市も同様の取組みを導入することで、議会の関心向上や意見の反映促進につなげられることとなるので、市民との対話の場を増やし議会の情報公開の強化を進めていき、長浜市の議会運営の質を一層高めて行きたく思う。